



わかしかに

3月10日号

No.34

昭和46年

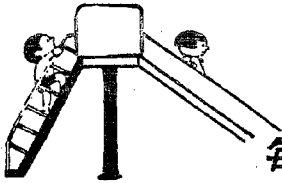
毎月 10日・25日発行

発行所 新潟県西蒲原郡西川町役場

印刷所 北洋印刷株式会社

明るい家庭づくり

それは……愛情と信頼に結ばれた
家族関係の確立から



毎月第3日曜日は

家庭の日



月	日
4	18
5	16
6	20
7	18
8	15
9	19
10	17
11	21
12	19
1	16
2	20
3	19



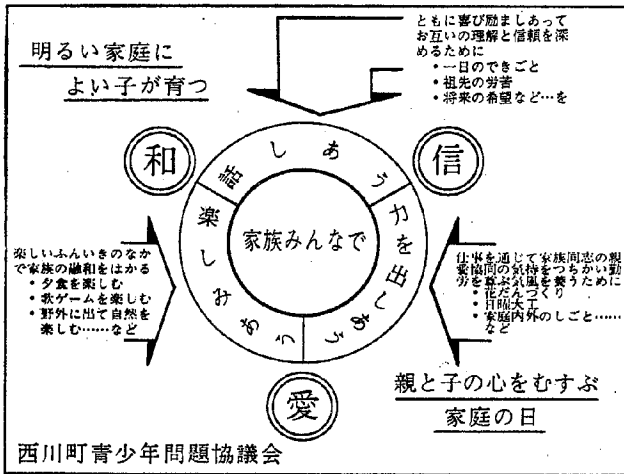
毎月、第三日曜日は「家庭の日」です。

家族みんながひとりひとりの気持ちをよく知りお互いに信頼し、協力しあって、明るく楽しい、健康な家族づくりをねらいとしております。

あた、かい愛情につつまれ深い信頼に結ばれた「家庭」こんな家庭がたくさん集った明るい社会をつくるために。

毎日が家庭の日じゃないか……と、いかにも知れませんが……

しかし、仕事、仕事でいそがしいおとうさん家事に、内職においまわされているおかあさん。勉強、勉強で遊ぶひまもない子どもさん。せめて、月に一度の家庭の日には、家族みんなで楽しくすごしましょう。



次の世代になう青少年を、心身ともにすこやかに育てるには、明るい家庭が第一です。

この家庭の日は全国的な運動としてすすめられております。新潟県では毎月第三日曜日としております。家庭の日のすこし方、すすめ方は、家庭によつていろいろ考えられますが、例えば次のようなことをおこなってみてはどうでしょうか。

▼ すすめ方

この日は、おとうさん、おかあさんがはじめ、家族みんながつごうをむすぶ、家族みんなが顔をそろえましょう。

う。そして次のようなことを家庭でとりあげてみましょう。

家族全員で話しあいをしましょう

両親は、子どもたちの考えをきき、子どもは両親からその考えをききましょう

たとえば、学習や生活態度、家庭でのくらしのことなど、身やかな話題がたくさんあることと思います。

家族全員で楽しみあいましょう

家族みんなでゲームをしたり、おもしろい本を朗読したりすることも楽しいことだと思います。

家族全員でスポーツをしましょう

子どもの年齢、その他の事情によってもちがうことですが、魚つり、水泳ぎ、きのことり、ハイキング、サイクリング、スキーなどいろいろあるうかと思えます。

家族全員で力を出しあいましょう

大掃除、花だんづくりなど、みんなで力を出しあって、ひとつの仕事をしてみようではありませんか。こうした体験の中で子どもは両親の激励と承認によって育っていきます。

そのほか各家庭の実情にあわせてくふうしましょう

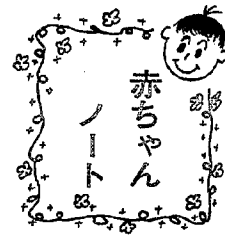
麻疹(はしか)の家庭看護

最近では看護、治療の進歩と生活条件の向上により、麻疹はそれ程恐ろしい病気ではなくなりましたが、時に重症を経過をとる場合もあります。

看護にあたって最も大切なことは患児をできるだけ安静に保つことである。ただ乳幼児の場合泣き止まず、無理にねかせておくことができない場合適宜おんぶやだいてやることもよいでしょう。

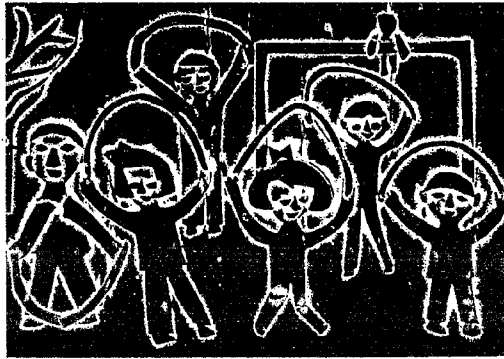
麻疹だからといって、特別暖める必要はありません。

室温は摂氏二〇度前後が適当です。現在なお部屋を密閉し、暖房もお湯を沸騰させて看病する家庭を見受けますがこれは患児をいたずらに苦しめるだけで、かえ



って悪影響を及ぼします。家庭での暖房器具は電気が最もよいでしょう。石油、ガスストーブ等も多く使わ

ぼくの作品



曾根小学校 一年 揖斐 幸浩

紙版で、なわとびの様子がたのしくえがかれている。

担任 佐藤 範

れます。炭火の場合室外で充分起こします。又室温を一定に保ちながら一日二回位数分窓を開き換気を行います。

氷枕、水枕、冷たいタオルなどは、乳幼児には大人ほどの必要はありませんが高熱でこれらを使用する場合は冷しすぎないようにし、頭部にだけおとめ、肩、背部に接触しないように注意します。次に食餌ですが、高熱時には多くの場合、二三日間、牛乳、粥食、うどん、パン食にし、副食も鶏卵、豆腐、大根、馬鈴薯、野菜の煮こし、やわらかい野菜、魚肉など年令、症状に応じ適宜与えます。またリンゴ、みかん、バナナなどの新鮮な果物を与えて下さい。このようにして、解熱するにしたがい濃厚な栄養分を与え、時に本症に見られるビタミンA欠乏症を防がねばなりません。

口湯には、番茶、砂糖湯、湯さましを与え、口腔内の清掃には、硼酸水、食塩水などでうがいさせ、乳幼児では軽く拭拭します。寝衣はもちろん清潔、柔軟なものを使い肌着は木綿を用い発汗のときは取りかえてやりませう。

また、麻疹患児はよく下痢をしますが、食餌に十分注意し、医師に投薬してもらいます。逆に便秘することもあります。二日以上排便のないときは洗腸を行います。回復に向いますと、子供がだんだんねるのをいやがりますが、この時期には、日光、新鮮な空気に接し多少の運動をさせ漸次普通の生活に移してゆきます。

交通災害共済に加入を

四十六年度会員募集中

町民のみならず、交通事故は年ごとに増えるばかりです。

一日一円の交通災害共済制度があることをご存じですか？

万一の交通事故にそなえ一人でも多くの人が加入しましょう。

昨年度当町における加入状況は、三七五〇人、加入率三五・五八％となっております。見舞金を受けられた内訳は次のとおりです。

五〇万円一人、二〇万円三人、五万円四人、二万円六人、五千元十七人、計二〇五千元となっております。

今加入されている方の共済期間は三月末日までです。四月一日から四十六年度の会員登録を行いますのでみなさんそろって加入をいたしましょう。

○加入資格
当町に任んでおられる方は、どなたも年令に制限なく加入できます。

☆共済の掛金
一人金額、三五〇円です。途中加入も同額です。

☆共済期間
四月一日から翌年三月三十一日までです。中途加入の人は、掛金を納入した日の翌日から共済期間が始まります。

☆共済の見舞金
☆死亡した場合
五十万円

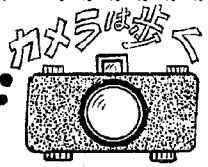
☆全治六カ月以上の傷害を受けた場合
十万円

☆全治三カ月以上の傷害を受けた場合
五万円

☆全治一カ月以上の傷害を受けた場合
二万円

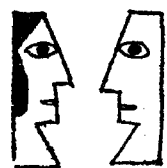
☆全治一週間以上の傷害を受けた場合
五千元

○加入の手続き
加入申込書を各世帯に配付します。なお、くわしいことは消防課(電話三三九九)にお問い合わせください。



春がまた来た

春がまた来た。天地は、詩をおぼえた子供のようだ。たぐさんのたくさんの詩を：長い苦しい勉強のおかげで今ごほうびを貰うのだ。大地よ、長い苦しい冬を終えて春を迎えた幸福な大地よ、さあ子供らと遊ぼうよ。さあさあ掴まるよ。のたのしい大地よ。一番たのしいひとが捉える……



3月の衛生行事

月日	種目	対象	場所	時間
3月12日	精神衛生家族座談会	(個人通知)	分館	午後1:00~3:00
23日	血圧指導会	要注意者(鑑郷地区)	役場	午後1:00~3:00
24日	種痘接種	S.44. 1. 1~S.44. 12. 31の出生児で生後初めて種痘を受ける人	役場	午後1:30~2:30
25日	乳児、産婦の健康相談	S.46年1月の出生児とその母親	役場	午前9:00~12:00
25日	乳児検診	①S.45. 4. 2~S.45. 9. 30までの出生児 ②S.45. 11月、12月の出生児	役場	午後1:00~3:00
26日	母親学級	全妊婦	役場	午後1:00~3:00

軽油免税証を交付

農耕用軽油免税申請の受付を二月十六日から二月十八日まで行なわれました。申請者に免税証を交付しますので受領においでください。

一、日時 三月二十六日 午前十時より午後三時
 ◎この日にこられない方は、なるべく早く巻財務事務所へ行ってください。
 二、場所 西川町役場議場
 三、受領に必要なもの
 ○交付申請に使用した印かん(共同申請した方は代表者の印かん)
 なお、免税申請をされた方は四月十五日から十六日までに巻財務事務所へ行って申請してください。